



日本共産党 荒川区議会議員
Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

906 2024年9月1日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
9月2日(月)
18時~20時
横山区議事務所
お気軽にご相談を



荒川区議会9月会議が始まります(9/10~10/7) 暮らし、福祉、産業など区民の願い実現に全力

9月会議の区長提出議案

総務企画	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計補正予算(第2回) 42億8,600万円を補正 (補正後予算額:1240億132万9千円) 職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正 新規コロナ及びインフルエンザワクチン接種75歳以上の無料化 決算余金を基金1.37億、937万円など 職員の高齢者部分休業に関する条例 80才に達した常勤職員で1日2時間を超えない範囲で加勤による諸事情への対応や地域貢献活動への参加休業を新設
子文 育教 て・	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者者の指定 総合スポーツセンター 荒川スポーツマネジメント共同事業体(株東京アスレティッククラブと三美ビルタクノから株東急コミュニティ、南千住保育園 上智厚生館からHITOMAキッズライフ㈱に指定変更)
区福 民社	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険条例の一部改正 健康保険証の廃止に伴う規定の整備等 指定管理者者の選定 東部在宅高齢者通所サービスセンター及び老人福祉センター(社)奉愛会・西日暮里ふれあい館(学)道灌山を引き続き指定
決算 特別 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度決算 一般会計 決算額1,221億0033万円 翌年公費財源2億7,900万円 差引額39億5,529万円 国民健康保険特別会計 決算額230億 後期高齢者医療特別会計 決算額4億 介護保険 特別会計 決算額100億 歳入決算53億 歳出決算53億 差引5億400万円 歳入決算から歳出決算・繰り越す財源を差し引いたものが差引額(決算剰余金)

昨年度も約40億円の黒字…積立だけでなく暮らし応援に

2023年度荒川区一般会計決算では、約40億円の黒字(決算剰余金)が生じ、うち約38億円を基金(貯金)に積み立てます。今後の庁舎や小中学校建替え費用のためといいます。もちろん計画的な積立は必要です。しかし「住民福祉の向上」や命暮らし守る緊急対策など自治体本来の役割発揮に支障はないか、などしっかりと精査が必要です。

2023年度各会計決算(単位:万 千円以下は切り捨て)

	歳入決算	歳出決算	繰り越す財源	差引額	審議委員会
一般会計	1221億0033万円	1178億6548万円	2億7954万円	39億5529万円	決算特別委員会
特別会計	230億6055万円	226億9538万円	0	3億6516万円	
後期医療	54億0881万円	53億4475万円	0	6405万円	
介護保険	190億5322万円	185億1417万円	0	5億3904万円	

歳入決算から歳出決算・繰り越す財源を差し引いたものが差引額(決算剰余金)

昨年度末の基金総額496億円…さらに補正で38億円上乗せます。引き続く物価・エネルギー高騰から命暮らし守る財源はあります。暮らしは苦しくなっています。東京都区部の消費者物価指数の2024年7月分は、前年同月比が2.2%の上昇で、35か月連続のプラス。電気代19.7%、ガス11.6%上昇が追い打ちをかけています。現在実施している日本共产党区議団の区民アンケートでも、「この1年間で生活が苦しくなった」が7割以上っています。こうした中で、9月10日から10月7日まで区議会が開かれます。いま来年度予算の編成作業が行われています。地方自治体=荒川区で、これから10月7日まで区議会が開かれます。いま来年度予算の編成作業が行われています。日本共産党区議団は、この議会で、公私両方の視点を区政に、住宅困難者支援、地域公共交通など本格的な区内産業振興策、化など子育ての負担ゼロ、銭湯支援策など、切実な願いを実現に力を尽くします。みなさんのご意見をお寄せください。



の本来の役割
「住民福祉の向上」にこそ
力を入れると
できます。

引き続く物価・エネルギー高騰から命暮らし守る財源はあります。

9月会議の予定

9月 9日(月)10:00~幹事長会 11:00~議会運営委員会
10日(火) 9:30~全員協議会 10:00~本会議
11日(水)10:00~本会議
13日(金)10:00~総務企画委員会、福祉区民生活委員会
17日(火)10:00~文教子育て支援委員会、建設環境委員会
19日(木)20日(金)24日(火)25日(水) 決算特別委員会(10:00~)
26日(木)30日(月)10月1日(火) 決算特別委員会(10:00~)
10月 4日(金)10:00~幹事長会 11:00~議会運営委員会
7日(月) 9:30~全員協議会 10:00~本会議

新原中学校は今年で創立30周年記念の年 町屋さくら復活・移動の自由保障を考える…(31) 自治体の基本…まずは区民の実態を知ること

この間、日本共産党区議団は、コミュニティバスをはじめとした地域公共交通の整備について、近隣区の視察・調査を実施してきました。そこで感じた大事なことは、移動や交通手段について、まず区民の声・実態と真摯に向き合うことです。

この8月には、区議団として墨田区の「区内循環バス」「地域公共交通計画策定」について視察を行いました(私は所用で不参加)。同僚議員の話だと、区内循環バス利用者の「実態調査」を実施し、その内容など元に区内循環バスの在り方、地域公共交通計画策定含め作業を進めているようです。この点では、台東区の「めぐりん」の視察でも同様の取り組みが行われいました。荒川区の姿勢がきびしく問われています。

まちの課題あれこれ
建替え・更新が始まっています。区内の統合新校では古いほうになってしまい、今後、小中学校の中で過ごした卒業生もおられます。

新校舎への移転からは27年目ですが、

まちの課題あれこれ
新校舎へは、今年で創立30周年記念の年



まちの課題あれこれ
新校舎へは、今年で創立30周年記念の年

まちの課題あれこれ
新校舎へは、今年で創立30周年記念の年

コミバス 事情…

墨田区の「区内循環バス」を視察して やはり住民の「困った」に寄り添った姿勢が第一



墨田区コミバス運行事業費 (決算額 単位:円)	
2019年度	97,461,692
2020年度	136,315,655
2021年度	140,931,000
2022年度	167,192,377
2023年度	182,144,114

2021年調査結果から
区内循環バスの目的の一つに区内観光を考えたが、利用目的は通勤通学・買い物などの利用が多く、観光目的は休日でも5%程度
平日・休日ともに利用者の8割以上が区民の利用
平日は週2~4日、休日は月1回程度の利用が最も多い
休日の早朝・夜間の利用は低調
墨田区でも、やはり区民の生活の足としてコミュニティバスが使われています。

「コミュニティバス」など聞きました

第32回のアンケートではコミバスについてもお聞きしました。8月28日現在の集計では1,482の回答のうち、「廃止しないで・再開して」32%・新しい移動支援を」22%「他の地域にも運行を」12%「コミバス不要」11%となっています。「わからない」と



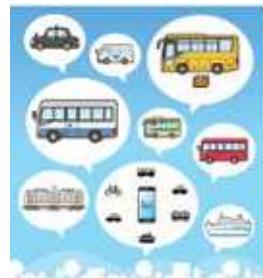
2013年にも調査を行っていますが、2021年度には平日と休日の一日ずつ全ルート始発から最終便までの全便を対象に調査員を配置し、調査票を配布して降車時に回収する「利用者アンケート」(回収率74%)を実施しています。運行事業者は、京成バスです。運行事業者は、京成バスです。

墨田区が運行するコミュニティバス「すみだ百景・すみまるくん・すみじんちゃん」は2012年3月20日運行開始。押上駅を起終点として、区役所・区施設・病院・大規模商業施設・観光名所を循環する3ルートです。運行事業者は、京成バスです。

横山は、所用で参加できず、同僚議員から聞いた内容を報告します。)

区内循環バスの改善と地域公共交通計画策定へ 福祉・環境・教育・まちづくりと連携した施策展開：

現在は地域公共交通計画策定のために5300人の基礎調査を行い、福祉環境教育街づくり分野、鉄道バス、タクシーなど交通事業者37名で構成する策定協議会を開催中。



墨田区議会に

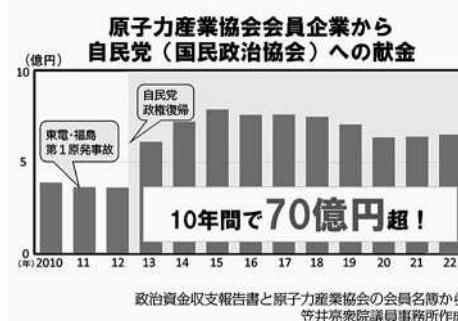
「調査特別委員会」

区議会でも地域公共交通等調査特別委員会を設置し審議を行っています。

墨田区議会に「調査特別委員会」を設置し、荒川区でもコミュニティバスの位置付けはじめ総合的な検討を行うなどして地域公共交通計画の策定を進めることができます。「廃止・縮小・値上げ」より先です。

今週のデータ 原発関連企業から自民に巨額献金

原発で金儲けは、うかるのか。どうして日本電力は儲もうかるのでしょうか。どうして日本原発を安全と言いつて危険な原発を張り出しがあったのに自民党のはじめ「原発回帰」の声があるのでしょうか。どうして老朽化した原発がはっきり表れています。



芸術の秋…各地でイベントがあります

まだまだ暑い日が続いているが、時折、高い空に「秋の雲」を見る機会も増えてきました。

そこでほっと一息…身近なところで音楽や演劇、絵画に触れる機会があればいいですね。

第11回 南千住ぶらり下町音楽祭

9月23日(月・祝) 午後4時開演

会場 すさのお神社

弦楽四重奏 (ヴァイオリン 白井篤・嶋田慶子、ヴィオラ 村松龍、チェロ 西山健一)

10月14日(月・祝) 午後2時開演

会場 南千住第二中学校

ピアノ 赤松林太郎

バロックから古典派、ロマン派へ
バッハ、ベートーヴェン、ブルームスの
ドイツ三大作曲家を軸に
西洋音楽の輪郭を辿る

<弦楽四重奏>と
<ピアノ>
2つのコンサート

料金 大人2,000円 (ACC友の会会員200円引) 小中学生1,000円
問い合わせ先 町屋文化センター

【窓口】営業時間：休館日を除く9:00~17:30

【電話】03-3802-7111

南千住の町中で開催する《南千住ぶらり下町音楽祭》。2024年から2日に分けて開催します。

一流の演奏家が奏でる音をきっかけに、町の魅力を発見してみませんか？